

令和 6 年度
国分寺市立福祉センター・国分寺市生きがいセンターとくら
事業報告書

1. 指定管理者： 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
2. 現場責任者： 新井 松則
3. 連絡先 ☎ ： 042-324-4681

目 次

I 管理業務等の体制及び実施状況(管理業務及び自主事業)

II 決算状況等及び施設の利用実績

(決算収支状況、使用料徴収実績、公の施設の利用実績(利用者数、利用不承認等の件数・その理由))

III 従業者育成にかかる研修実施状況

IV 利用者意見及び自己評価(利用者アンケート調査結果、事業実施状況自己評価)

V 苦情対応に係る記録

VI 事業計画書に掲載した計画の実施状況

VII その他管理の実態を把握するために必要な事項

- *別紙：①令和 6 年度 施設保全定期点検・維持管理報告、令和 6 年度特別点検・修理修繕報告
②令和 6 年度 収支決算書
③令和 6 年度 福祉センター会議室施設月別利用状況
④令和 6 年度 生きがいセンターとくら月別利用状況
⑤令和 6 年度 施設利用者アンケート集計結果
⑥令和 6 年度 事業実施状況 指定管理者自己評価票
⑦令和 6 年度 指定管理者 苦情受付・対応件数報告書

*別添 ・収支決算書の一般管理費(本社経費)算定根拠

I 管理業務等の体制及び実施状況(管理業務及び自主事業)

1. 人員配置計画

館長：1名 常勤：1名 非常勤職員：7名 夜警職員（非常勤）：2名

館長は全体の管理責任者として、福祉センター・生きがいセンターとくらの施設管理と来館者対応、また、講座事業、自主事業等を管理しました。勤務体制は常時4～7名（日曜日は2～3名）平均で交代勤務制としました。各イベント等状況に合わせて、多数の来館者が見込まれる場合は非常勤スタッフを増員配置して対応致しました。

防火管理者については、館長を防火管理者として配置しました。

2. 施設の維持管理

(1) 建物の維持補修に関する点検方法

法令に則した点検の必要項目を明確にし、法令規格の遵守・無駄・無理・不良の点検を行い、点検業者からの点検報告は適宜市主管課へ報告しました。また、エレベーターは月1回の点検業者の点検報告を確認し、日々の巡回においても注意を払いました。また、令和6年度より建築設備及び特定建築物定期点検については、国分寺市包括管理事務所（大成有楽・多摩ふるさと共同企業体）に移管しました。なお、令和6年度は長年に渡る懸案事項であったトイレの改修工事が施されましたので、更なる良好な施設環境となるよう維持に努めてまいります。

(2) 機器保全策

施設運営に必要不可欠な重要設備を把握しました。過去の保全・劣化経緯を明確にした後、現在の機能維持に不可欠な保全を重点施策としました。市主管課および関連部署による保全策実行にあたっては、施工業者がスムーズに工事ができるよう立ち合いも含め協力しました。

(3) 危険防止・修繕について

利用者の安全や安心を確保し続ける事が、安定したサービスを提供する基礎となります。特に子どもたちは、施設内にある「地域活動支援センター虹」の利用者を含め幅広い利用があるため、大人が想定していない遊びや行動から事故につながる事もあります。職員の日々の問題意識を高く持ち大事故につながる要因を未然に防ぐため、適正な導線・備品等の配置・整理整頓を心掛け、管理を徹底しました。

- ① 毎年度の繰り返しの訓練からより迅速な行動を身に付けるために令和6年度も自衛消防訓練を実施しました。Ⅶその他管理の実態を把握するために必要な事項に後述。
- ② 国分寺市個人情報安全管理措置基準に則った個人情報保護、震災・防犯、障がい者対応について、各マニュアルに沿った研修を実施し、事件・事故発生時の行動および予防するための日常の対応につとめました。研修内容については後述。
- ③ 危険箇所を発見したときには、迅速に危険箇所に注意書きを掲示し市主管課担当者に報告し相談の上で対応をしました。令和6年度は、劣化のため稼働していなかった福祉センター周囲の外灯3か所を修繕していただき、入退館者の足元の不安を解消することができ

ました。

- ④ 修繕箇所はいつ、どのように修繕が必要になったか、どのような対処を行ったかを業務日誌他に記録を取りました。

＊別紙① 令和6年度施設保全定期点検・維持管理報告、特別点検・修理修繕報告 参照

(4) 清掃及び環境衛生管理

美観や空気環境（におい、温度、湿度）特に、受付・トイレの美観は留意項目として日常重点的に対応しました。清掃に必要な薬剤等は床材の品質に合ったものを使用し、健康に留意し必要最低限の使用に制限しました。

- ① 施設内の清掃を毎日行い、日々衛生的な環境を整え、室内のゴミ、ほこり、水回り、トイレについては、職員が巡回点検を行い、常に清潔に保ちました。
- ② 基本的な感染防止対応として手指消毒液の継続設置、手洗いの励行を徹底いたしました。
- ③ トイレをきれいに使って頂けるよう利用者に注意を呼びかけました。
- ④ グリーンカーテンを正面玄関左横に設置しました。また、1F ロビー、2F フリースペースにも観葉植物の植木鉢を継続して設置しました。また、受付カウンターにメダカの水槽や手作り小物等を飾るなど来館者が和むような受付窓口としました。

(5) 保安警備

① 保安警備

開館中の警備上の問題は発生しませんでした。夜間の警備は機械警備となっていますが、警報の発報はありませんでした。異常が発覚した場合は責任者と職員に連絡が入る体制を整えました。

② 鍵の管理

職員全員が鍵の保管・管理について責任を持ち、鍵の紛失・破損をしないよう徹底し、紛失・破損は発生しませんでした。また、貸出表を作成し、鍵の所在を明確にしました。

Ⅱ 決算状況等及び施設の利用実績

・決算収支状況

＊別紙② 令和6年度収支決算書 参照

・施設の利用実績

＊別紙③ 令和6年度福祉センター会議室施設月別利用状況 参照

＊別紙④ 令和6年度生きがいセンターとくら月別利用状況 参照

Ⅲ 従業者育成にかかる研修実施状況

・事業所職場内における研修は10回を計画し計画通り以下の内容で実施しました。

令和 6 年度 実施研修一覧

月 日	研修名（事業所内）	内 容
4/20	個人情報保護について	新職員も加入したことから、基本的な個人情報の取得・利用から保管、提供、開示に至るまでを学習
5/11	ハラスメント防止について	職場内での言動の注意点、また利用者等からの暴言への対応等について
6/1	食中毒・アレルギーについて	食中毒・食物アレルギーの基礎知識について学習 みんなの食堂実施にあたっての注意点の確認
7/6	マナー・接遇研修	気持ちよくご利用いただくために、接遇マナー5 原則に従い具体的な行動について研修
9/5	通報訓練について	仮の電話機を使って、消防署（仮）への確な通報ができるかを全員で練習
10/5	認知症・障がい者対応について	認知症チェックリストにもとづき学習、障がい者に対しての合理的配慮についても学習
11/27	消防訓練について	11/27 に消防訓練実施、通報訓練、初期消火、避難訓練
12/7	苦情対応について	傾聴の基本を周知、もし発生した場合の手順について再度確認
1/11	防犯研修	不審者への対応→退館の促しや警察への通報の判断—について
3/8	利用者アンケートと対応	アンケート内容を全員で共有

- ・国分寺市や外部団体で行われている外部研修については、令和 6 年 7 月 1 日と令和 7 年 2 月 25 日に開催された国分寺市地域福祉推進協議会を研修として捉え参加しました。その中で紹介された市内の事業者の参考となる取組み事例は職員と共有しました。また、グループ討議のなかでは他の事業者と意見交換ができました。
- ・当法人本部主催のコンプライアンスに関する集合研修に参加し、職員へも周知しました。

IV 利用者意見及び自己評価（利用者アンケート調査結果、事業実施状況自己評価）

1. 「利用者協議会」は「福祉センターまつり」の話し合いを中心に実施し、また「センターの運営」の改善を図るための協議会でもありました。令和 6 年度は令和 5 年度に 4 年ぶりに開催をしている「福祉センターまつり」をさらに進化させた企画にすべく「利用者協議会」を核として「福祉センターまつり実行委員会」を 5 回開催し、選挙の影響で日程変更を余儀なくされながらも、第 7 回「福祉センターまつり」を開催することができました。

2. 利用者アンケートにつきましては令和6年12月に実施しました。集計結果は冊子にして閲覧できるようにしました。

＊別紙⑤ 国分寺市立福祉センター・生きがいセンターとくら施設利用者アンケート集計結果参照

・指定管理者の自己評価

＊別紙⑥ 事業実施状況指定管理者自己評価票 参照

V 苦情対応に係る記録

・令和6年度は苦情認定としたものは福祉センターで0件、生きがいセンターとくらで0件でした。

＊別紙⑦ 令和6年度指定管理者 苦情受付・対応件数報告書参照

VI 事業計画書に掲載した計画の実施状況

利用者増のための取組み

福祉センター・生きがいセンターとくらの共通の取組み

(1) センターの活動や取組み及び地域の情報発信

福祉センター・生きがいセンターとくらで取組む企画の告知を、センター内の掲示板や「とくらかわら版」などで発信しました。ホームページの開設は間に合いませんでしたが、入館者は全てロビーを通るので、お知らせ事項や館内の情報発信は、見えやすいよう掲示しました。ロビーに立ち寄り、福祉センター・生きがいセンターとくらの活動を知っていただくことができました。また、地域の様々な活動の情報発信の場として掲示板や国分寺市報等を収納するラックが利用者に有効に活用されるよう工夫しました。

(2) 自主サークルや自主活動の設立支援

地域生きがい交流事業講座終了後、自主サークル立ち上げを側面的に支援することを目指しましたが、令和6年度は、1講座（筋力アップ GYM）の応募者が大幅に増加し受講できない参加者が見込まれていましたので、事前に自主サークルの立ち上げを支援し、自主グループとして多くの方に参加をしていただくことが出来ました。

(3) 地域の関係各機関との連携

国分寺市立第十小学校、シルバー人材センター、社会福祉協議会、地域包括支援センター、けやきの杜、各種行政機関、近隣福祉施設、近隣の大学などと連携・交流を積極的に行いました。上記各機関の内、シルバー人材センター、社会福祉協議会、けやきの杜にはセンター内の行事にご協力いただき、また、国分寺市立第十小学校には、みんなの食堂、ハロウィンイベントや福祉センターまつりポスターの制作、書初め展の出品にご協力いただき

ました。1月の第十小学校の学年別習字実習においては、習字の立会いサポートを依頼され、書道講座受講生に手伝っていただき、校内行事に協力しました。

① 国分寺市社会福祉協議会法人会員

令和元年度より社会福祉協議会の法人会員となり継続して令和6年度も会員となりました。社会福祉協議会発信の情報は出来るだけ共有し、電話や窓口での対応がスムーズにできるよう努めました。同じ館内に事務所があることから、空いている会議室の問合せおよび貸出しの依頼や、掲示物の依頼に協力しました。また、事務所内の軽微な修理等についても対応しました。

② シルバー人材センターへの業務委託と会員増加への協力模索

引き続き地下1階の清掃業務を委託し、シルバー世代の職業支援への協力をしました。また、会員増加に向けた協力を模索する中でシルバー人材センターからのポスター掲示依頼等は協力しました。

③ 戸倉自治会との連携、自治会入会

自治会の会員として自治会主催の8月の盆踊り大会（第十小学校校庭）では前日から当日まで準備に協力しました。また、福祉センターまつりの際はチラシの配布にご協力いただきました。

④ 国分寺市地域福祉推進協議会委員推薦と参加

令和6年度も当センター代表として館長が委員となり、会議に参加し他事業所会員との有用なコミュニケーションを図ることができました。

福祉センターの取組み

(1) 各イベントを自主事業イベントも含め積極的に推進

① 福祉センターまつり

「利用者協議会」が核となり「福祉センターまつり実行委員会」を立ち上げました。当初10月27日（日）を予定しておりましたが選挙投票日と重なり、急遽11月23日（土・祝）に日程変更をしながら「第7回福祉センターまつり」を無事に開催することができました、489名にご来場いただき、フリーマーケットの売上の一部を社会福祉協議会やみんなの食堂に寄付をいただくことも叶いました。



② けやきフェスタ（自主事業）

けやきの杜主催の「けやきフェスタ」は、9月14日（土）に開催されましたが、当日は

福祉センターでも「お休み処」を企画し、来場者へのおもてなしのお手伝いをしました。

③ とくらカフェ「ARUKOT」（自主事業）：毎週金曜日実施

令和4年9月より再開したとくらカフェは令和6年度に3年目を迎えました。
基本的には毎週金曜日のみオープンでしたが、金曜日以外でも「集いカフェ」として、出来るだけ要望に応えるようにし、利用者に楽しんでもいただきました。
年間50回実施し1,899杯、285,300円の実績でした。

④ みんなの食堂（自主事業）

衛生面に留意しながら、偶数月に計6回実施しました。1月については第十小学校の要請（生徒さん主体となった総合学習SDGs活動）により2月予定のところ前倒しで開催しました。

開催日	参加者（人）
4月14日（日）	37
6月9日（日）	33
8月22日（木）	53
10月26日（土）	38
12月15日（日）	39
1月19日（日）	50

遊びタイムは高齢者団体による紙芝居や東京経済大学生ボランティアサークル・クローバーさんにもゲームに参加していただき、調理でもボランティアさんにご協力いただきました。食事とゲームをともに楽しむことで、多世代交流や安心して過ごせる居場所づくりの一端を担うことができました。

⑤ その他、子どもたち対象の企画

子どもたち対象の企画については上記のみんなの食堂で食後のイベントとして実施しました。4月ー的あてゲーム、紙飛行機飛ばし、駄菓子屋・文房具屋さんごっこ遊び 6月ーオリンピックをテーマに障害物競争 8月ーパラリンピックに因んでボッチャ大会 10月ーハロウィン（悪魔の館ゲーム） 12月ークリスマス（光るクリスマスツリーのワークショップ） 1月は第十小学校5年生による総合学習の一環としてSDGsをテーマにチラシ作成からメニューの考案と調理体験、また子どもたちを中心に高齢者も交えてSDGsのアンケートやクイズを通してSDGsを学び、多世代交流を図りました。

生きがいセンターとくらの取組み

地域高齢者の憩いの場として、地域生きがい交流事業・自主事業・囲碁・将棋及びスカイウエルの運営を継続して行いました。大広間、多目的室についてはすでに高齢者団体、高齢者福祉を目的とする団体に貸出できるようになり、公共施設予約システムでの予約が可能となりましたが、高齢者の登録団体がスムーズに予約できるように丁寧に対応しました。

生きがいセンターとくらでの地域生きがい交流事業の講座は、4 講座を実施しどの講座も人気の講座のため多くの受講生が参加されました。

自主事業では、「エンジョイライフスタディ講座」を 3 講座開講しました。また、「みんなの食堂」や「ハロウィンパーティー」「クリスマス会」等々、近隣の国分寺市立第十小学校の協力を得て、様々なイベントを開催し、地域交流・多世代交流を進めてきました。

① 地域生きがい交流事業

令和 6 年度は下記講座を計画の通り開講し、期ごとに発表会・交流会を実施しました。

(火) 「日本画を描こう」

(木) 「筋力アップ GYM」

(金) 「脳トレしよう！」

(土) 「やさしい書道教室」

・第 1 期：延べ開講数 49 回・延べ参加者数 910 名

・第 2 期：延べ開講数 50 回・延べ参加者数 955 名

・第 3 期：延べ開講数 47 回・延べ参加者数 893 名

合計：総延べ開講数 146 回・総延べ参加者数 2,758 名

<令和 6 年度発表会・交流会>

・第 1 期・2 期の発表会・交流会については、福祉センターを拠点にして他の 3 センター（こいがくぼ・ほんだ・ひかり）を含め 1 階ロビーにて実施しました。生きがいセンターとくら 4 講座に加え、同こいがくぼ 4 講座、同ほんだ 3 講座、同ひかり 4 講座の計 15 講座分を集積して実施しました。文化系作品発表のコーナーを設けたり、茶話会形式の交流会等も行い、他の講座の方との交流や、講師同士の交流も出来、多くの方に講座を知っていただく機会を作りました。

・第 1 期：<展示期間>：7 月 26 日～31 日 <交 流 会>：7 月 27 日

・第 2 期：<展示期間>：12 月 6 日～15 日 <交 流 会>：11 月 30 日

第 3 期については、生きがいセンターもとまち、同にしまちを含めた 6 センター合同発表会・交流会を昨年同様に cocobunji プラザ：リオンホールにて開催致しました。

本年はセミナールームを体験コーナーとして拡大展開し、ステージ発表や作品展示を通し、他のセンターの講座の様子等も知ることができ、ステージも好評でした。

今回も当法人が中心となって発表会・交流会全般の進行役となり、実施しました。

前年は日曜日、本年は平日の開催ということで来場者数が心配されましたが、前年（230 名）より多い 247 名の方に来場していただきました。鑑賞席も空席が目立つことなく来場いただき、皆さんの協力もあり事故なく終わることができました。

・第 3 期：<合同発表会・交流発表会>：3 月 21 日

cocobunji プラザリオンホールにて開催。

ステージ発表（13 講座）・展示ブース（8 講座）・体験コーナー（3 講座）を設置しました。（生きがいセンターもとまち、同にしまち含む）

247 名のご来場があり、皆さん会場内作品を鑑賞されたり、体験したりし、楽しい時

を過ごされていた様子が伺えました。今回は、日本画の講師に依頼して、講師の作品をクリアファイルに印刷し、そのクリアファイルをご来場の方に記念の品として配布いたしました。



② 介護予防事業

令和6年度は「健康パドル体操」の名称で毎月1回定期的に実施しました。

- ・毎月1回、年12回の実施：延べ参加者数140名（月平均：11.6名）

③ 敬老月間行事

- ・5年振りに「演芸発表会」（高齢者対象）を開催しました。

会期：9月8日（日） 会場：福祉センター地下1階（生きがいセンターとくら）大広間

参加者：18団体

利用者の方や地域の方に、唄、踊り、手品、演劇などを披露いただき、来館した方々に鑑賞して頂きました。参加された方々も発表の機会が出来たことを喜んでいました。参加者とアンケートにご協力頂いた方々に粗品を配布しました。



④ 自主事業としてエンジョイライフスタディ講座を開講

- ・前期と後期の2回に分けて、受講生を募集しました。

「火曜日のヨガ」「四季を彩るハーモニー」「土曜日のヨガ」の3講座を開講。

- ・講座名、開講数、参加者数は以下の通りとなりました。

〈前期〉	4月～9月	総延べ開講数 36 回	総延べ参加者数 652 名
------	-------	-------------	---------------

火曜日のヨガ：	延べ開講数 12 回	延べ参加者数 147 名
---------	------------	--------------

四季を彩るハーモニー：	延べ開講数 12 回	延べ参加者数 341 名
-------------	------------	--------------

土曜日のヨガ：	延べ開講数 12 回	延べ参加者数 164 名
---------	------------	--------------

〈後期〉	10月～3月	総延べ開講数 36 回	総延べ参加者数 683 名
------	--------	-------------	---------------

火曜日のヨガ：	延べ開講数 12 回	延べ参加者数 167 名
---------	------------	--------------

四季を彩るハーモニー：	延べ開講数 12 回	延べ参加者数 352 名
-------------	------------	--------------

土曜日のヨガ：	延べ開講数 12 回	延べ参加者数 164 名
---------	------------	--------------

〈前期〉 + 〈後期〉	総延べ開講数 72 回	総延べ参加者数 1,335 名
-------------	-------------	-----------------

VII その他管理の実態を把握するために必要な事項

1. 経費削減への取り組み

節電・節水による光熱水費の節約、備品の破損などをなるべく起こさない指導、日常のメンテナンスの徹底を心掛けました。特に電気については、空調機器の比重が大きいため夏・冬場の冷暖房期は室温をこまめにコントロールしましたが、令和5年度23.7万Kw⇒同6年度24.8万Kwと前年より寒い冬の暖房や大型工事による電力使用および不安定な燃料調整単価の中で、使用量、電気代ともに前年を上回る結果となりました。

2. 環境への配慮

施設の環境面の管理（園芸・清掃等）は職員も行い、施設に愛着を持ち、安全など確認しながら管理できるように運営しました。また、館内美化を職員間で徹底、利用者にも協力を呼びかけ、使用する備品は詰め替えや再利用ができるものを使い、資源の再利用を心がけ、ゴミの分別・リサイクルを徹底しました。

3. 災害時への対応

令和6年度も自衛消防訓練を国分寺消防署戸倉出張所署員の指導の下、以下の通り実施しました。

日時：令和6年11月27日 場所：国分寺市立福祉センター

実施内容：2階料理実習室から出火した想定で火災時の避難および通報訓練を実施

避難訓練終了後、消火器扱い方訓練、消火栓・AEDの操作説明

参加者：福祉センター職員、社会福祉協議会、シルバー人材センター、地域活動支援センター虹の各職員および利用者で合計21名が参加しました。

令和 6 年度の総括

指定管理者 3 クール目の初年度の年となりました。10 年間の施設運営経験を踏まえ、11 年目である令和 6 年度は、ほぼ当初の計画通りに運営することができました。利用団体への働きかけ、第十小学校をはじめ近隣諸施設との連携等が奏功し、各企画・イベント等も実施することができ、とりわけ 11 月の「福祉センターまつり」9 月の「演芸発表会」3 回開催の「生きがい交流事業発表会」偶数月開催の「みんなの食堂」など年間定例行事となりました。いずれの企画も来館者に喜んでいただいたことで、交流の場としての役割を多少なりとも果たせたと思います。また施設面においても劣化の著しい福祉センターのトイレ、外灯の修繕工事をはじめ各所の修繕が進んだ令和 6 年度であったと思います。

指定管理者として福祉センター創立 50 年を迎える令和 7 年度以降も、今まで以上に行政、関係団体、地域の皆様と協力し、福祉センター・生きがいセンターとくらの役割を果たしていきたいと思います。

令和 7 年 4 月 25 日